

みなさんは、何を軽米らしさにあげますか？

昔きゅうり、店頭 の炭火で魚を焼く風景、今はないあの街角の建物・・・などなど

「軽米にジャズが流れた日」

平成14年10月12日(土) 軽米町の銀座通り(?!)に異変が起こりました! その日の大町『街の駅』周辺は、人の出入りが激しく、何やらあやしい(?)動きが...

果たして、夕方...

街の駅前の駐車場は、レンガ、水、落ち葉、そしてキャンドルを使った灯りの広場になっていました。そこから会場まで敷き詰められた落ち葉、赤レンガのかけらに木の枝をさしこんで作ったキャンドルスタンドにセットされたりうそく、そして落ち葉の中に混じってほのかな香りを漂わせる緑のハーブ...

足元をくすぐる落ち葉の廊下を通り抜けると突き当たるレンガの館...そこで「赤煉瓦 J a z z ライブ」は始まりました!



出演は、ザ・マサちゃんズ(ピアノ佐山雅弘、ベース小井政都志、ドラムス大阪昌彦)、そしてゲストに伊太地山伝兵衛(ギター&ボーカル)。マサちゃんズの息の合った演奏、それに甘く切なくかぶさってくるムーディーなボーカル、そして楽しいトーク。明かり取りの窓か

ら射しこむ月の光、会場内にも置かれた優しいキャンドルのゆらめき...街の駅裏の赤煉瓦酒蔵はいつのまにか演出効果抜群の洒落たコンサートホールになっていて、町内外から集まった百人余りの音楽ファンはうっとりとし生ジャズの音色に聞き入っていました。

消え行こうとするレンガ建造物の活用を目的に開催された今回のジャズライブ。ここまでの道のりは長く苦しいものがありました。団員の意思統一から始まって実行委員会の結成、会場整備、大掃除、チケットの販売と、いろいろな困難を乗り越えてやっと実現したのです。

灯りの演出を担当してくださったのは、軽米町観音林出身のキャンドル作家でドラマ「北の国から」にも登場するキャンドルショップを営む横島憲夫さん。横島さんとの出会いは、これからの探偵団にとってもまた軽米町にとっても、新たな軽米町のイメージや魅力を作り上げるための貴重な一歩となるのでは...という気がします。

ライブ終了後に行われた出演者を交えての打ち上げにもたくさんの人たちが残って参加してくれて、ジャズの余韻を楽しみながら話に花を咲かせて大いに盛りあがっていました。こうして、軽米の赤煉瓦 J a z z ライブの熱い夜は更けていったのです...



駐車場の灯りの広場の雰囲気、写真ではお伝えできないのが残念です!

御 礼

赤レンガ J A Z Z ライブに次の各商店・企業・団体からご協賛いただきました。

たけさわストア・(資)長谷川建材・(有)木村組・高常自動車工業(株)・(株)アイソニック・内まる屋(有)はたさわ薬局・古館製麺・(有)千本松本舗・(有)工藤石油店・(株)工藤健一商店・風車くんカード会・軽米町役場職員労働組合・(有)ヨロズ自動車整備工場・(有)小笠原電気水道・波柴木工所・(株)みちのく銀行軽米支店・フルダテ建築工匠・軽米食堂・山野内運送(有)・軽米建友会(協)軽米中央商店会・軽米町商工会

主催: 赤煉瓦ジャズライブ実行委員会

(実行委員会は、軽米らしさ探偵団と町内の音楽愛好家により組織されました)